

## 人道のまちの国際交流 カウナス市の学生が来町

11月15日(水)から18日(土)まで、町の友好都市である、リトアニアのカウナス市の学生が八百津町を訪れました。

滞在期間中は町内中学生の自宅にホームステイしたり、中学校での授業を体験するなど、日本を満喫しながら交流を深めました。

これからも、交流を通じて異なる文化への理解を深めていけると良いですね。



## 秋の恵みと地域の優しさに感謝 どろんこになっていもほり

11月15日(水)、野上地内の尾関一夫さんの畑で、恒例となっている乳幼児学級のいもほりが行われました。さつまいもは尾関さんがボランティアで育ててくださいました。

子どもも大人もどろんこになりながら、一生懸命に大きく育ったさつまいもを収穫しました。



参加した方は、「子どもと一緒に土に触れる機会はそうそう持ってません。地域の方の厚意を感じ、八百津で子育てできてよかったな、と思います」と話してみえました。



## 思いやり、つてどんなこと？ 八百津小学校ひびきあい集会

八百津小学校で取り組んでいる人道教育発表の場として、「ひびきあい集会」が11月25日(土)、八百津町ファミリーセンター大ホールで開催されました。

第1部は5・6年生児童による人道創作劇「イエフダーと七つの灯」公演。児童らは、杉原千畝氏の功績と人道精神を広く伝えるために積み重ねてきた練習の成果を堂々と披露。観客の中には、感動の涙をぬぐう姿も多く見られました。

劇の終わりには、会場全体があたたかい拍手であふれ、演じた子どもたちは、緊張がほどこけ、リラックスした様子でなりやまない拍手に笑顔を見せました。



第2部は、歌手の藤田恵美さんを招いた「OMOIYARI音楽会」。

藤田さんのヒット曲「ひだまりの歌」に合わせ、会場のお客さまも一緒に手話と歌声が響きあう場面もありました。

藤田さんが作った「OMOIYARIのうた」は、八百津小学校が大切に歌い続けている曲です。歌詞にあるように、「思いやりは世界を幸せにする魔法」であることを忘れず、いてほしいと願っています。